楽しく遊んでつながり強める 夏休みイベント各地で開催

流しそうめんで交流
オール清瀬久留米が集まる

流しそうめんは子どもたちに大人気

【清瀬久留米・畳・阿部史夫通信員】今年で5回目になる流しそうめん交流会が、8月6日に開催されました。

まずは事務所3階に集まり、広島への想いを込めた黙とうを捧げました。会場にはあらゆる世代から169人が集合。オール清瀬久留米の結集です。まず、主婦の会による子ども向けの『万華鏡作り』がスタート。出来上がって覗き込む表情が真剣でした。

1階駐車場の流しそうめん会場では、お好み焼き・かき氷・綿あめなどたくさんの食べ物、飲み物が用意されています。

今年の流しそうめんは、いつもと違います。進化したのです。2階でゆでたそうめんは、2階からパイプを伝って流れてくるのです。途中がクリアになっていて、流れる様子も見ることができます。

初めて息子さんと参加された、南町分会の清水健吾さんは、「親父はよく組合に出てるけど、僕はほとんど出てません。今日は来てよかった。これからは組合にも顔を出します」と話していました。

バナナ早食い競争は大盛況

後継世代でツアー
練馬 学んで遊んで大満足

堂々と地域にアピール

【練馬・書記・亀川佑介記】8月6日、後継者対策部企画の「後継者交流 満足日帰りバスツアー」を開催し、後継者世代とその家族、48家族115人が参加しました。後継者世代の交流と、分会後継者対策部長のパートナー発掘の目的で行なわれたこの企画は、太陽が照りつける真夏日の中で開催されました。

有明のそなエリアでは地震発生後72時間の生存力をつける体験学習ツアーとして発災から脱出、避難場所での安全確保までをタブレットを使って学習。レジ袋を使っての三角巾の作り方や防災ゲームコーナーなど、親子一緒に防災について学びました。

お昼はBBQで大交流会。参加者から一言発言をいただいた後はお楽しみ企画として子ども抽選会と大人のバナナ早食い競争をおこない、会場は大いに盛り上がりました。

参加者からは、「子どもたちと楽しく過ごせてよかった」「防災体験がためになった」などの声をいただきました。

七夕祭りで流し踊り
西多摩・主婦 夏の風物詩

8月4日、西多摩支部主婦の会は「福生七夕まつり」の民謡パレード（通称＝流し踊り）に、踊り手33人、サポーター19人の合計52人が参加しました。

昭和26年にスタートした福生市の夏の風物詩である七夕まつりは、今年で67回目を迎え、8月3日から6日までの4日間開催。横田基地を有する当市の地域特性を前面に押し出し、アメリカンなまち福生をコンセプトとして、魅力ある七夕まつりを目指した取り組みです。民謡パレードはその多彩な催しの1つとして2日目に行なわれるお馴染みのイベントです。

以前は西多摩支部の取り組みとして参加していましたが、15年ほど前から主婦の会の恒例参加行事となりました。「最近では踊り手が少なくなってきているので、支部としても役員・書記等でサポートするようにしている」と、応援に駆けつけた山口支部委員長は話してくれました。

終了後は、例年通り中福生会館にて打上げが行なわれ、手作りの料理とお酒で盛り上がりました。

珍プレー続出に歓声
府中国立 ボウリングで輪

【府中国立・書記・前田寛史記】8月6日、後継者対策部主催の「ボウリング大会2017」が永山コパボウルで開催され、各分会の若手・後継者世代はもちろん、ベテラン勢、本気モードでマイボール持参の仲間、応援団、仲間の家族も含め、総勢84人が会場に集まりました。

支部副委員長の始球式から始まったボウリング大会は、Pリーグさながら「ナイス・スペア！」「よっしゃー、ストライク～！」の声が会場に響き渡る盛り上がりです。大人たちの珍プレー好プレーの連続に、子どもレーンの歓声が花を添えます。

年齢、性別、職種、丁場そして国籍を超えた交流の輪が生まれたボウリング大会となりました。

藤井効果か、子どもや女性の参加も

将棋大会
藤原さん全勝連覇
6歳の子や女性も参加

【厚生文化部発】昨今の将棋人気を受け「8月のサイ」と題した東京土建第39回将棋大会を8月6日、けんせつプラザ東京で開催しました。今年も日本将棋連盟から島朗九段・鈴木環那女流二段を迎え、18支部49人、うち、6歳の子どもや女性など6人の初参加が4支部からありました。

A級では品川支部の藤原さんが昨年に続き全勝優勝し、連覇となりました。島九段からは「大会で勝つには実力プラス勝ち運が大事」との講評をいただきました。

【個人戦】（敬称略）
A級優勝　藤原延行（品川）
準優勝　野上雅博（中野）
準優勝　廣澤榮二（杉並）
B級優勝　高橋正好（世田谷）
準優勝　佐藤広平（豊島）
準優勝　後藤京太（小平東村山）
C級優勝　倉田文男（杉並）
準優勝　高橋那央（狛江）
敢闘賞　荒川昭男（練馬）
D級優勝　柿崎春夫（板橋）
準優勝　関口弘（新宿）
敢闘賞　吉村　敷正（小平東村山）

【団体戦】
優勝　杉並支部
準優勝　小平東村山支部
敢闘賞　中野支部

教える側も学ぶ側も真剣

子らの笑顔に喜び
大田 物作りの楽しさ教え

【大田・書記・平山裕也記】8月6日、新田分会は大田区立矢口小学校で、今年もサマーワークショップとして工作教室を開催しました。講師として組合員が8人参加し、午前中は21人、午後は11人の子ども達が参加しました。

工作教室の内容は椅子作りで、講師が作業手順の説明をする際、見本で作品を作る姿・技術力に、子ども達は真剣な眼差しで見入り、大事なことを聞き漏らさないよう説明をしっかりと聞いていました。

子ども達は最初、釘がまっすぐ打てないなど苦労した場面もありましたが、途中からうまく打てるようになりました。作品を完成させた子ども達には、自分で作ったという満足感・達成感で、喜んでもらうことができました。また子ども達の笑顔を見て、我々も同じように、嬉しい気持ちになりました。

これからも地域との繋がりを持ち、物づくりの楽しさや魅力を伝えるために、取り組みを進めていきます。